

# 幕張新都心モビリティコンソーシアム 第7回総会

開始までお待ちください。

- Zoomの設定のお願い
  - カメラOFF
  - お名前:「会社名\_\_お名前」

2024年3月18日

## 開催にあたっての留意事項

### ○以下、オンライン参加の方へ

- 名前の表示
  - 「貴社（団体）名\_お名前」としてください。（例：千葉市\_鈴木）
- 総会中のカメラ、マイクは発言時のみオンとしてください。
- 発言時は『チャット』や『手を挙げる』機能を活用下さい。
- 録音・録画、画面の撮影は厳禁でお願いいたします。



### ○以下、現地参加の方へ

- 現地参加でZoomに入室する方につきましては、音声はミュートではなく、オーディオの切断をお願いいたします。

# 幕張新都心モビリティコンソーシアム 第7回総会



2024年3月18日

## 本日の次第

	次第	発表者	時間
10:00-	<b>1 開会（事務局）</b>	事務局（千葉市）	2分
10:02-	<b>2 議題</b>		
	(1) 各PTの進捗報告		
	①自動運転バスによる回遊性向上PT	損害保険ジャパン（株）	15分
	②MASSIVE WORLD活用PT	Super Massive Global（株）	15分
	(2) 千葉市における電動サイクルシェアの導入について	OpenStreet（株）	15分
	(3) サービスモデル（案）の説明等	デロイトトーマツコンサルティング（同）	25分
	(4) 2024年度千葉市事業	事務局（千葉市）	10分
	(5) 座長の決定	事務局（千葉市）	3分
11:25	<b>3 連絡事項</b>	事務局（千葉市）	3分
11:28	<b>閉会</b>		

# (1) 各PTの進捗報告

## 2023年度組織体制

2023年度末までにPTを設置したものは以下のとおり。

PT名	PTリーダー	PT取組概要
<b>自動運転バスによる 回遊性向上PT</b>	アイサンテクノロジー株式会社 イオンモール株式会社 損害保険ジャパン 株式会社	・自動運転バスを社会実装し、幕張新都心エリアの回遊性向上を実現する。
<b>MASSIVE WORLD活用PT</b>	Super Massive Global 株式会社	MASSIVE WORLDアプリを利用したイベントを実施し、モビリティを利用して幕張新都心を中心とした主要商業施設やベイエリアの回遊を促し、その効果の測定を行う。

# 幕張新都心モビリティコンソーシアムPT進捗報告

## 自動運転バスによる回遊性向上PT

損害保険ジャパン株式会社

提出年月日：令和6年3月18日

## PT概要・体制

PT名	自動運転バスによる回遊性向上 PT
体制及びメンバー	<p>&lt;リーダー&gt; アイサンテクノロジー株式会社、イオンモール株式会社、損害保険ジャパン株式会社、</p> <p>&lt;構成員&gt; イオンコンパス株式会社、イオンリテール株式会社、京成バス株式会社、株式会社建設技術研究所、株式会社東海理化、株式会社ティアフォー、株式会社幕張メッセ、湯楽の里 (50音順)</p>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自動運転バスを社会実装し、<b>幕張新都心エリアの回遊性向上</b>を実現すること</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ エリア内の周遊バス（既存のイオンモール幕張新都心への巡回バス想定）の自動運転化の社会実装を目指し、コンソーシアムメンバーの役割分担、ルート検証、技術的検証、コスト検証、事業性検証を行う。</li> <li>✓ 来年度以降の社会実験の実施、及び、その後の実装化を具体的検討を行う。</li> </ul>
期待効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ まちの賑わい、回遊性の向上</li> <li>✓ 都市部における自動運転バスの成功モデル化</li> </ul>



## PTで議論すること

### 走行するルート

- 町別人口、来場者人口の状況確認
- 既存の買い物バスとの兼ね合い検討（1便増やすか代替便とするか など）
- 公共性の有無
- 住民の利便性を優先したルートか？自動運転バスが走行しやすいルートか？

### 運営の座組

- バスの保有者（事業者側・千葉市・一般社団立ち上げ）
- ランニングコスト・メンテナンスコストの負担

### 運営コスト

- イニシャルコスト、ランニングコストの具体的試算と補助金併用の資金調達手段

## PT実施概要

令和5年度下半期に取り組んだPTでのアジェンダや検討内容は以下のとおり

PT実施日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和5年11月13日実施 @千葉市役所会議室（ハイブリッド開催）</li> </ul>	
アジェンダ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ルートについての協議</li> <li>2. 実装を前提とした実証実験の概要検討</li> </ol>	
主な検討内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ルート協議             <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕張新都心エリアの回遊性の向上、まちの賑わいを意識し検討</li> <li>・幕張メッセ等への来場者を対象とした「①来街者ルート」と地域住民を対象とした「②住民ターゲットルート」の2軸で検討</li> </ul> </li> <li>2. 実証実験の概要検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行時期</li> <li>・運行計画</li> </ul> </li> </ol>	 

## PT実施概要

令和5年度下半期に取り組んだPTでのアジェンダや検討内容は以下のとおり

PT実施日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和5年12月8日実施 @千葉市役所会議室（ハイブリッド開催）</li> </ul>
アジェンダ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ルートについての協議(前回の続き)</li> <li>2. 実装を前提とした実証実験の概要検討（前回の続き）</li> </ol>
主な検討内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ルート協議             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルートの決定</li> <li>・曜日に応じて、来街者ルート・住民ルートの両方を走行することで仮決定</li> </ul> </li> <li>2. 実証実験の概要検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行時期および運行計画の決定</li> <li>・実証実験にかかるコスト試算</li> </ul> </li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>

## PT実施概要

令和5年度下半期に取り組んだPTでのアジェンダや検討内容は以下のとおり

PT実施日	● 令和6年1月26日実施 @千葉市役所会議室（ハイブリッド開催）
アジェンダ	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 実証実験にかかる概算コスト算出</li><li>2. 今後の実装の方向性検討</li></ol>
主な検討内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 概算コスト算出</li><li>2. 今後の方向性の検討<ul style="list-style-type: none"><li>・補助金申請シナリオについてPTメンバーの意見を確認。</li><li>・座組についても同様に意向を確認。</li><li>・実装に向けたシナリオについて協議。</li></ul></li></ol>

## 運行する座組の全体像



### 地域の商業施設



文化が集まる、未来が集まる。



### 交通事業者



### 自動運転実装に向けた支援事業者



## 2024年度実証実験（案）

下期にPTで検討した具体的な内容は以下のとおり

### 1. 概要

- 社会実装を前提したルートでの走行検証をおこなう。
- 検証する視点は、①ニーズ、②事業性、③技術面、④安全面の4つ。
- 事業性については、KPIを設定し、一定期間の走行結果を検証、事業として成り立つかどうかの見極めをおこなう。

### 2. スケジュールおよび、運行時間、費用

- 実証期間：2024年11月～12月に走行予定  
（11月中旬～12月中旬の1か月ほどの期間で走行する）
- 運行計画：水・木・金（幕張メッセのイベント開催時）は、来街者ルートを走行  
土・日・月・火は、住民ルートを走行
- 運行本数：要検討
- 費用：国土交通省 地域交通確保維持改善事業補助金を申請予定

## 2024年度実証実験（案）

下期にPTで検討した具体的な内容は以下のとおり

### 3. ルート（来街者ターゲットルート）



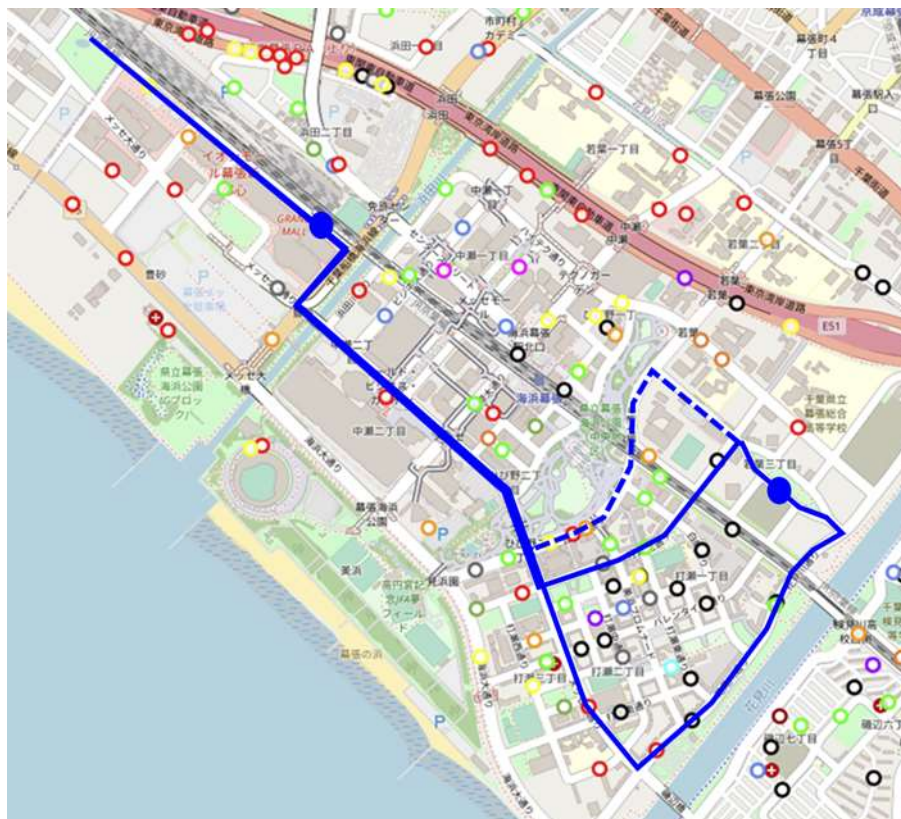
- 幕張新都心モビリティコンソーシアムの設立目的である、新都心エリアの回遊性・まちの賑わいを意識し、幕張メッセ等のイベントでの来街者がイオンモール等の周辺施設へ立ち寄ることが狙い。
- また、検討にあたっては、過去千葉市調査事業にて実施した、海側かつ来街者をターゲットとすることが経済的合理性が高いという調査結果に基づき検討した。

幕張豊砂駅 発⇒イオンモール幕張新都心⇒プレナ前⇒幕張メッセ  
⇒イオンモール幕張新都心⇒幕張豊砂駅 着

## 2024年度実証実験（案）

下期にPTで検討した具体的な内容は以下のとおり

### 3. ルート（住民ターゲットルート）



- 幕張新都心モビリティコンソーシアムの設立目的である、新都心エリアの回遊性・まちの賑わいを意識しつつも、地域の住民の方に受け入れられる必要があるルートとする必要があり、イオンお買い物バスルートを想定した住民向けルートを設定。
- なお、来街者と地域住民が混合して乗車することは地域住民側のストレスとなる可能性もあり、運行する曜日を分けることとした。

幕張豊砂駅 発⇒イオンモール幕張新都心  
⇒ベイタウン・ベイパーク⇒イオンモール幕張新都心⇒幕張豊砂駅 着



## スケジュール

2024年4月-  
2024年8月

- 補助金への応募
- 実証実験準備、関係行政機関との調整

2024年9月-  
2024年10月

- ルート調査、データ取得、リスクアセスメント等
- 具体的な運航計画の策定

2024年11月-  
2024年12月

- テスト走行
- 実走行（1か月）

2025年1月

- 結果の検証（①ニーズ、②事業性、③技術面、④安全面）

## PTメンバー以外に求めること

コンソーシアムメンバー・千葉市へは以下の点について、ご協力を頂きたい。

コンソ メンバー	
千葉市	<ul style="list-style-type: none"><li>● 実証実験の財源として申請する補助金が不採択となった場合や減額となった場合の費用補助について検討いただきたい。</li></ul>

# 幕張新都心モビリティコンソーシアム P T 進捗報告

## MASSIVE WORLD活用 P T

Super Massive Global株式会社

提出年月日：令和6年3月1日

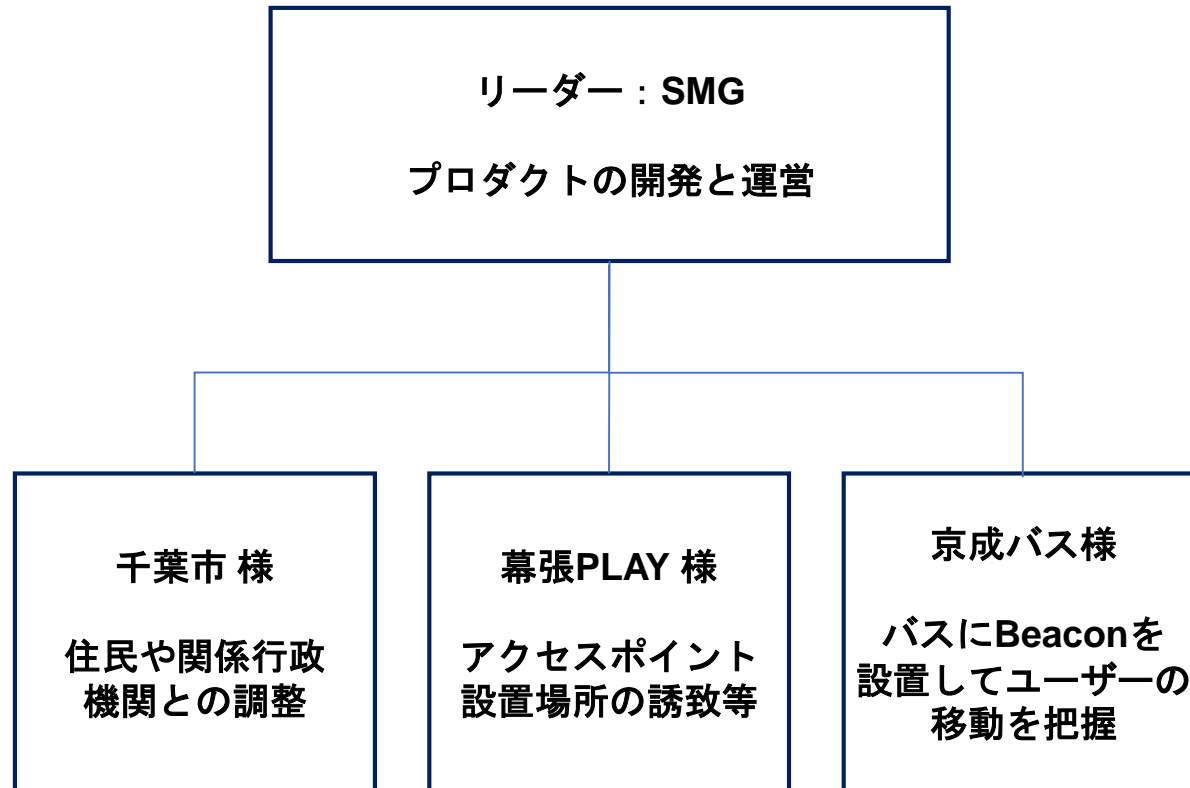
## PT概要

PTの概要は以下の通りです

PT名	MASSIVE WORLD活用PT
目的	<p>MASSIVE WORLDアプリを利用したイベントを実施し、モビリティを利用して幕張新都心を中心とした主要商業施設やベイエリアの回遊を促し、その効果の測定を行う。</p>
実施内容	<p>MASSIVE WORLD内のイベント期間中に、京成バス様などの交通手段を利用し、MASSIVE WORLD内の指定ポイントで陣取り合戦を行う。陣取り先を商業施設やコンソーシアム会員様の店舗に設定。</p> <p>回遊先のアクセスポイントを抑えて、イベント終了時にどれだけの領地を取れているかを競う。</p> <p>ランキング形式として、上位者には各種商業施設で利用可能なクーポンなどを配布する。</p>
期待効果	<p>イベント期間中の各商業施設への送客とシェアサイクル、バス、電車の利用率増加。 今回のPrjを通して、特別なアクセスポイントで人の回遊を促せるかを検証。</p> <p>ここで上手く行けば、今後MASSIVE WORLDに実装予定の決済機能を使って、経済効果もより明確に確認することが可能。</p>

## 体制

P Tの座組とメンバーの役割は以下の通りです



## PT実施概要

令和5年度下半期に取り組んだPTでのアジェンダや検討内容は以下のとおり

第3回PT 実施日	● 令和5年10月17日実施 @オンライン
アジェンダ	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 各社To Do進捗確認</li><li>2. プレスリリースについて</li><li>3. その他共有事項</li><li>4. 次回PT日程について</li></ol>
主な検討 内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ウェビナー開催について</li><li>・ プレスリリースについて</li><li>・ 制作物関連のスケジュールについて</li></ul>

## PT実施概要

### MASSIVE WORLDアプリの説明会（ウェビナーについて）

※アプリのアクセスポイントとして予定していた企業を対象とした説明会を、令和5年11月6日・7日に開催する予定で進めていた

本実証実験について

MASSIVE

### 実証実験の一つのプロジェクトとして採択決定

#### MASSIVE WORLDアプリによる幕張新都心を 中心とした回遊性向上&消費促進プロジェクト

代表者：Super Massive Global（株）  
連携先：幕張PLAY（株）、京成バス（株）  
千葉市役所（国家戦略特区推進課）

##### 【実証フィールド】

幕張新都心

##### 【地域課題】

- 施設間に一定距離があり、来訪者は目的施設と駅とを単純往復
- 平日・休日ともに、来訪者は買い物など1施設の訪問のみ
- 施設間の回遊性が乏しく、連携も弱いため、消費行動が広がらない

##### 【プロジェクトの概要】

- 位置情報を活用した新感覚ゲームアプリとトークン発行・決済システムを開発
- エリアの回遊・消費行動の促進・効果検証
- バスに乗り込んでいるアプリユーザーを検知
- ユーザーの移動×決済によりビックデータ蓄積

位置運動型ブロック  
チェーンゲーム



報酬で得たトークンを現金  
換金・決済へ利用



##### 【効果】

- アプリを通して、多彩な商業施設やイベント施設間の回遊性向上
- 若年層であるZ世代をターゲットとすることで、新たな消費活動の創出とSNSを活用した情報発信による拡散効果
- バス乗車ユーザーの行動情報に係るビックデータを活用して効果測定
- 「職・住・学・遊」の複合機能が集積した都市として地域が活性化



【問い合わせ先】080-2781-8684（Super Massive Global（株）・井出）

## PT実施概要

MASSIVE WORLDアプリの説明会（ウェビナーについて）

※アプリのアクセスポイントとして予定していた企業を対象とした説明会を、令和5年11月6日・7日に開催する予定で進めていた

募集内容について

MASSIVE

本実証実験に伴い  
MASSIVE WORLD内のゲームスポットとして掲載させていただける  
幕張新都心エリアの店舗及び施設様を募集いたします



店舗/施設名を表示

店舗 / 施設画像 or ロゴを表示



## PT実施概要

MASSIVE WORLDアプリの説明会（ウェビナーについて）

※アプリのアクセスポイントとして予定していた企業を対象とした説明会を、令和5年11月6日・7日に開催する予定で進めていた

【実証実験】 イベント内容

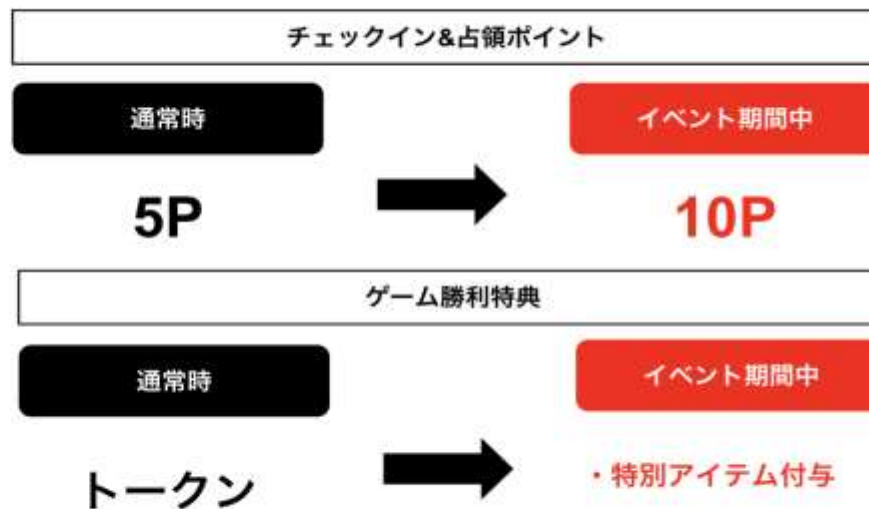
MASSIVE

### 幕張新都心エリア限定で

スポットにチェックイン&占領する毎に得られるゲーム内ポイントを2024年2月限定で通常の**2倍**に設定

ユーザーは他エリアのスポットにチェックイン&占領するよりも、幕張新都心エリアに訪れる方がポイントを多く獲得出来る

※チェックイン、占領どちらも連続でタップすることは可能です



※特別アイテム内容については、社内協議中

## PT実施概要

令和5年度下半期に取り組んだPTでのアジェンダや検討内容は以下のとおり

第4回PT 実施日	● 令和5年11月22日実施 @オンライン
アジェンダ	1. アプリ開発延期に伴う幕張新都心でのイベント中止等の説明
主な検討 内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アプリの開発延期の理由について</li><li>・ 開発延期に伴うウェビナー及び幕張新都心イベントの中止について</li><li>・ 今後の方向性について</li></ul>

## PT実施概要

MASSIVE WORLDアプリの開発中止に関する経緯について

開発中止に至った2つの主要因

1. トークノミクスがうまく回るモデルではなかった
2. ゲーム自体のクオリティの改善

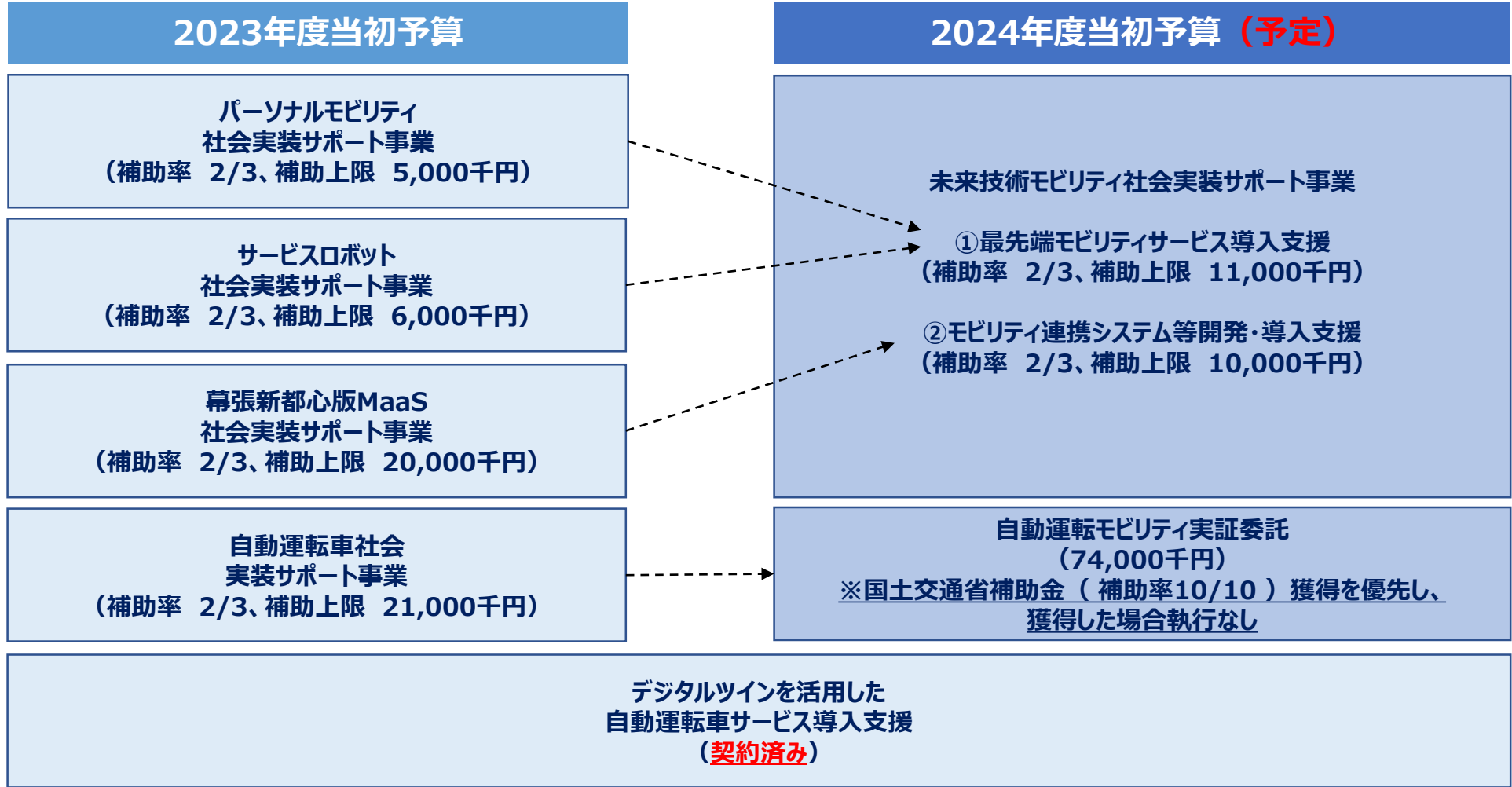
## (2) 千葉市における電動サイクルシェアの導入

## (3) サービスモデル（案）の説明等

## (4) 2024年度千葉市事業

## 2024年度事業

千葉市が行う事業について、来年の予算は以下の通り。**ただし、国費を財源としており、国内示次第で変更の予定あり。**



## (5) 座長の決定



## 幕張新都心モビリティコンソーシアム運営会則（抜粋）

### （座長）

第8条 本コンソーシアムには、総会の決定により座長1名を置く。

- 2 座長は、本コンソーシアムを代表し、本コンソーシアムの運営等を掌理する。
- 3 座長の任期は、原則として1年とし、再任を妨げない。

現在の任期：

2023年4月1日～2024年3月31日

### （総会）

第9条 本コンソーシアムに総会を置く。

- 2 総会は、会員をもって構成し、座長がこれを召集する。
- 3 総会は、会員の過半数の出席をもって成立する。
- 4 総会は、本コンソーシアムの基本となる活動方針の決定、事業計画の報告等を行う。
- 5 総会の議決は、出席者の過半数をもって決定するものとし、可否同数のときは、座長の決するところによる。

## ◆岡村教授のプロフィール



氏 名：岡村 敏之（オカムラ トシユキ）

役 職：東洋大学国際学部国際地域学科 教授

研究分野：社会基盤（土木・建築・防災） / 土木  
環境システム

社会基盤（土木・建築・防災） / 土木  
計画学、交通工学

## ◆主な経歴

1999年 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学  
専攻博士課程修了

1999年 広島大学大学院国際協力研究科 助手

2005年 横浜国立大学大学院工学研究院 助教授

2012年 東洋大学国際地域学部国際地域学科 教授

2016年 東洋大学国際学部国際地域学科 教授

## ◆主な委員歴

●地域公共交通総合研究所 アドバイザリーボード

●交通工学研究会 交通工学編集委員会

●立川市 総合都市交通戦略協議会

●板橋区 交通政策基本計画策定委員会

●横浜市 横浜市自転車施策検討協議会 委員

●相模原市 地域公共交通会議 委員 34など

# 3 連絡事項

事務局（千葉市）

## 連絡事項

事務局からのアナウンスは以下の通り

### 1. 資料の取扱い

- 本日の資料は、原則公表とさせていただきます（非公表のページは、千葉市ホームページに掲載する際に削除します。）。

### 2. 議事要旨の確認

- 事務局にて案を作成し、各会員様の確認を経て、千葉市ホームページにて公表させていただきます。

### 3. 2024年度の総会・中間まとめ報告会のスケジュール

- 10月頃に中間まとめ報告会、来年3月に第8回総会を開催する予定です。

### 4. 2024年度の参加意向・連絡先の確認

- 後日メールでご案内しますので、回答をお願いします。

### 5. 電動サイクル試乗体験会

- 総会終了後、1階まちかど広場にて開催いたします。

# 幕張新都心モビリティコンソーシアム 第7回総会

ありがとうございました！

MAKUHARI  
NEW URBAN  
CENTER

以上